

『一生懸命』幻の新座市議会報告第71弾!



たかむらともや

2011年 8月 31日発行

総理大臣

民主党の代表選挙が終わりました。野田さんになったということは消費税の増税が近づいたということです。消費税の仕組みをよく知らない人は「しょうがないでしょう」「みんな平等なんだし」「他に手はないでしょう」と肯定する人が多いですね。新座市議会でもそういう意見の方が多いのです。しかし消費税の本質(怖さ)を知る人は「そんなことになったら大変だ!」「自殺者が増える」「景気がさらに悪くなる」と否定します。何度も書いていますが、消費税を納税するのは我々消費者ではありません。事業者です。名前が消費税だからどうも間違えてしまうんですね。消費税が怖いのは事業者が赤字でも納税義務があるということなんです。しかも、大企業には抜け道だらけの税制で、輸出大企業などは消費税が上がるだけで儲かる仕組みになっています。そういう人達は何もしないで儲かるのですから、「消費税を上げるしか手はない」と主張する政治家を応援しますよね。一方で新座市のように小さな事業所が多い市では、消費税の納税が今でも大変な中小零細企業が多いのです。ただでさえ景気が悪いのに、更に消費税が増税されたら...想像するだけで大変なことがわかります。政治家に献金するのは大企業や超金持ちばかり。政治家は見返りにそういう人達が有利な仕組みをせっせと作っていく。わかり易い構図です。国の仕組みがアメリカのようになると、貧富の差がどんどん大きくなります。そうしてアメリカのように貧困率が高い国になると、犯罪も同じように増えていくのです。アメリカの「年次計画要望書」の言いなりになって、郵政民営化に踏み切った小泉政権も庶民の生活を引き下げましたが、野田政権はアメリカにはどう向き合い、大企業や庶民にはどう向き合うのでしょうか。そして、何とんでもない大震災の被災地や被災者に対して、福島第一原発事故の被災地や被災者に対して、どう向き合っていくのでしょうか。管政権よりマシになるという保障はどこにもありません。



道路が拡張された八石小東門前の道路です。6月議会の一般質問で実現しました。通学の安全性が少し上がったことを素直に喜ばたいと思います。

たかやんのプロフィール



本名たかむらともや。教育を語らせたら、止まらない男です。都立石神井高校を経て北海道大学へ。7年から新座五中・六中・二中で21年間を過ごし98年退職。04年初当選。一人会派

語る会」で、しがらみのない発言をし続けている。4月より、仲間と東北の支援活動を継続的に行っている。新堀・石神 たかやん塾」塾長。

黒目川川づくり懇談会」代表として川掃除に燃えている。新座五中・六中の男女硬式テニス部を率いて、関東大会 5回、全国大会 2回優勝。学級通信「一生懸命」を20年間発行し続ける。NHKの「おはよう広場」、最近では「インターネットテレビ」に出演。議員日記は7年と6ヶ月毎日更新。市民目線の議会報告を毎月発行。ホームページへのアクセスは16万1千回を超える。小中高生と先生・保護者の生の声を聞きながら、日々教育を考え「観光新座ではなく、教育新座」を訴えている。ご感想・ご意見をお待ちしています。たかやん



たかやんの応援団 で 検索



たかやんの連絡先 自宅 042-456-8869 携帯 090-6497-5737
mail:takayanchan@jcom.home.ne.jp 〒352-0033 新座市石神3-19-32-106

☹️ 困りました・・



道場 2丁目に建設中の大型パチンコ店です。小学校が近くに2つもあるので、地域住民が不安はに思うのも無理はありません。しかし、どれだけ調べても法律的には建設・営業共に問題がないのです。建設反対運動もできなければ、営業を止めることもできません。「子ども達の為に何かできることはないか」「地域の環境悪化を最小限にする為に我々ができることはないのか」「八石小の保護者を中心に我々は考えてきました。そこで、地域住民は以下のような要望書を提出することにしました。この9月議会では、市と市教委からも同様の要望書を提出するように訴えていきます。

1. 営業時間をできるだけ短くする。
2. ゲームセンターを併設しない。
3. 車両誘導員とともに、未成年、不審者、暴力団などの入場を監視するガードマンを常時、出入口に配置する。
4. この場所は閑静な住宅地に囲まれた場所であり、また片山小学校の児童が通う通学路でもあるので、周囲の住環境を守り、児童への影響を考慮し、ハデ(光、色、デザイン)な看板や、品位のない看板を出さない。
5. パチンコの音など騒音を漏らさない。
6. 呼び込みをしない。
7. 歩道上に、ポリなど立てない。
8. 新台入れ替え時などの客の行列を、道路など敷地外には並ばせない。
9. 煙草の排煙設備を充実させる。
10. 周囲に塀をはいめぐらせ、建物および敷地内が外からあまり見えなくする。

☹️ 9月議会の通告から

「福島第一原発から放出されたセシウム 137は広島に落とされた原爆のおよそ168個分であることが新聞で報道されました。セシウム 137は食品や土壌に対し、深刻な汚染を引き起こします。子ども達の内部被爆が心配です。特に学校給食には注意を払わなくてはいいませんが、放射線の内部被曝に対する対策をお聞きします。(資料要求 給食の各素材の原産地がわかるもの)」

先日の東京新聞(8月26日朝刊)を見て驚きました。あのチェルノブイリ原発から1300キロ離れたトルコのある村で、事故の翌年の87年に出生した17人の子どもの全員が90年代後半に白血病になり、命を落としたというのです。この地域を含めた黒海沿岸では2000年以降がん患者の発生率が以前の10倍以上に増えました。チェルノブイリと同じ「レベル7」の福島第一原発事故で1300キロを考えると、北海道から九州まで日本列島全てが入ってしまいます。1300キロ離れてもホットスポットがあったということで、我々はそのことを教訓として、子ども達の安全を考えていかなければなりません。原発事故の翌年とは2012年の来年です。その年に生まれた子達が10数年後に白血病になる。そんなことにならないように、最大限の努力を大人はしなくてはいいけないのです。

ボランティアで東北へ行った六中の卒業生に南相馬の男子学生がこう言いました。「政府の言うことがコロコロ変わって避難所を3回も変わった」、「真っ赤な鼻血が出た」、「喉達はまだ鼻血が止まらなくて、30年間の追跡調査の対象になった」、「お母さんはストレスとショックで10日間声が出なくなった」そうです。「直ちに影響が無い」なんて大嘘で、政府の指示に従っていても既に健康被害は出ているんです。我々はもっと、もっと敏感にならなくてはいいけません。政府の発表を信じ、目に見えないからと安心して、子どもたちを危険に晒してはいいけないのです。何十年後、それが「取り越し苦労」や「杞憂」だとわかって、それでいい。僕はそう思います。チェルノブイリと水俣の教訓を生かす時が来ているのです。あの時、チツンが垂れ流した有機水銀も海を汚しているようには見えなかったのですから。

読み終わりましたら、お知り合いの方にさしあげてください m(__)m